

中国留学体験レポート

国際文化学科

21016005 安藤冴莉

私は中国の食事になれることができなかったため、日常ではあまり食べず、カップ麺ばかり食べていました。そんな私の数少ないおいしいと思ったものを紹介したいと思います。

私が中国でおいしいと思った食べ物の一つは糖葫芦というお菓子です。サンザシをいくつか串に刺してそれに水あめがかかったお菓子です。露店や屋台で売っています。なんとなく外で売っているものは避けていたのでずっと食べていなかったのですが、もう留学期間も終わりという1月の初め頃、先輩がおいしいというので買って見たのです。そしたらそれがとってもおいしくて、どうしてもっと早くに食べ始めなかったのだろうと後悔しました。

次になかなか気に入って割とよく食べていたものはナスの料理です。名前はわかりませんが、食堂にありました。もともとナスはあまり好きではないのですが、これだけはとてもおいしく食べることができました。食堂でご飯を食べるときは必ずたのんでいました。脂っぼい料理で、ニンニクがきいています。それと枝豆が入っています。甘辛い味付けです。

最後に紹介するのは麻辣燙という料理です。麻辣燙も食堂で食べたのですが、この料理はスープと面と具材で構成されているのですが、自分で具材を選ぶことができます。いろいろな野菜やお肉がありました。私は野菜を食べたかったので白菜やほうれん草をたくさん入れてもらいました。私は辛いものが好きなのでもともと辛みのあるスープに備え付けの唐辛子のようなものをたっぷりプラスして食べました。とてもおいしくてスープまで飲み切ってしまいました。またひとつ気に入った料理ができて満足していたのですがその翌日、胃腸炎になりました。辛すぎたようです。いくら口が辛さに耐えられたとしても胃はだめなのだ、と初めて知りました。

以上が私が紹介したい料理です。私はもともと偏食で日本でも食べられるものが限られます。そんななか留学に行って、中国に私の食べられるものなんてあるのかと不安だったのですが、この通りお気に入りの料理ができました。もちろん苦手なものもたくさんありました。しかし、私は自分のお気に入りを見つけることができたので満足です。私は臆病で人に薦められたりしないと食べたことのない料理を食べませんでした。今ではもっといろいろな食べ物に挑戦しておけばよかったと後悔しています。時間とお金があったらまた中国に行ってグルメツアーをしたいです。